

「RENOVATION HOUSE」(A09 white)について

林 健次 (鍛冶清水道株式会社 | 級建築士事務所)

コンセプト

「RENOVATION HOUSE」

施主との話の中で、いわゆる抜本的な改革が必要であることが最大の課題であった。現状を打破するのと同時に、生活スタイルそのものを劇的に変化させる必要をそこに感じた。中には、修正して変化を伴うものもあるだろうし、根本からの見直しを伴うものもあるだろう。そこで「RENOVATION HOUSE」というコンセプトになった。気がかりは、完成した時点限定の、刹那的なRENOVATIONでは、本当のRENOVATIONとは言い難く、劇的な変化は完成した時点で訪れる事が大半であるが、そのうちの少しの持続性をどういう風に持続させるかが重要となる、という点でした。もちろんデザイナーの手は離れるし、家そのものがそこに住む家族とその生活そのものを飲み込んでいく過程で常に変化はあるのだけれども、そこにどういう風に『なじむ』かがすべてと言える。デザインは、この基本を踏まえシンプルでかつ内に対しても外に対しても表情豊かであるものとし、北面・東面の表情と、南面の表情の差を意識を持って変化をつけた。

実際、劇的な変化は訪れた。家は、意識的に真っ白の外観となり、古い団地の中にあっては異彩を放っている。その事は、周辺の地域にとってもRENOVATIONとなった事の証しとなった(工事中にはたくさんのご近所さんが訪れた)。晴天には、大小のたくさんの窓が様々な表情を家の中に映し、夜には周囲に対して様々な表情を提供する。設備は、オール電化をとり入れた安全で、エコで、しかも最新となり、生活スタイルは劇的に変化し、飛躍的に効率。今後の持続的な変化は、どうだろうか？ 施主家族の生活の形態の変化とともに、部屋の使い方が微妙に変化していくだろう。内装に使われたシナ合板や構造用合板が、年々表情を変えていくだろう。床についていくキズ・壁や天井にしみこんでいくヨゴレ・戸についていくテアカ、全てが変化の証し。うまく生活して行って下さい。

敷地条件

伊勢平野のど真ん中。名古屋と大阪の分岐点という土地の利点から近年開発が進んでいる。この敷地は、そんな開発地域から一歩外に出た20年前に開発された団地の一角にある。北側と東側に5mの道路を配した200㎡程の角地がこの敷地である。南側は団地が出来た当初より空き地となっていて日照の点では非常に良い環境である。西側は既存の住宅が建っている。団地自体は、20年の歳月を経て成熟し老夫婦世帯のみ居住する形態がほとんどである。

建築主からの要望

工事前までこの場所には、既存の住宅があった。平屋の築20年ほどの住宅であったが、施主はここに高校のころより居住していた。両親と相次いで同時期に死に別れた。京都の大学生活で、現在の奥様と出会い結婚後ここで生活している。家そのものも古くてボロボロという印象ではないが、現在の生活スタイルに対しては、ほとんど閉鎖的な意味合いを持っている印象で、実際に奥様のストレスの原因になっているという感じであった。(そもそもこれがコンセプトとなった。)

デザイン・機能(使い勝手や換気採光気密といった基本的な)・設備の刷新

(デザインはお任せであった)
(オール電化)
必要な部屋(夫婦室・子ども室2人分)
洗濯干場室(以前デザインした私の住宅からぜひ欲しいとの要望)
ふとんを干せるバルコニー
車が楽に駐車できる駐車スペース

基本的なデザインは、私の作品をいくつか見ていただいた結果だったので、お任せであり、そう言う意味では非常に楽しくデザインさせていただきました。

解決策

デザイン・機能(使い勝手や換気採光気密といった基本的な)・設備の刷新

コンセプトで記述の通り。RENOVATIONを、完成時=劇的な刷新と、その後の持続的な変化と捉え、劇的な変化は、をおおむねカバーしている。付加的な意味合いで持続的な変化と捉えた。

必要な部屋(夫婦室・子ども室2人分)

敷地的な制約から、2階建てを提案しそのボリュームを確保した。

ふとんを干せるバルコニー

意外と難問でした。木造の場合、バルコニーは、雨漏りや耐久性とデザインのバランスから、鉄骨になりました。

は物理的な問題ですので、そんなに深く考える必要はありませんでした。

「RENOVATION HOUSE」(A09 white)

所在地

三重県松阪市嬉野野田町

主要用途

専用住宅

家族構成

夫婦+子供2人

設計

鍛冶清水道株式会社|級建築士事務所

林 健次

(構造・給排水衛生設備・電気設備共)

空調設備

東芝キャリア株式会社(担当) 柳谷基樹

施工

建築

中村建築(担当) 中村義樹

設備

鍛冶清水道株式会社(担当) 林健次

東芝キャリア株式会社(担当) 柳谷基樹

有限会社錦電気商会(担当) 錦和彦

構造

主体構造・構法

木造在来工法

基礎

ベタ基礎

規模

地上2階

軒高/最高高さ

6.13m/6.60m

敷地面積

204.36m²

建築面積

82.81m²

延床面積

137.32m²

工程

設計期間

2007年7月1日～2008年9月12日

工事期間

2008年9月17日～2009年3月18日

敷地条件

用途地域

都市計画区域内第1種住居地域

法22条区域

道路幅員

5.0m

駐車台数

2～3台

外部仕上げ

屋根

耐水合板t-12、ガルバリウム鋼板t-0.4瓦棒

外壁

PBt-12、ガルバリウム鋼板t-0.4

開口部

アルミ製建具

外構

土間コンクリート

ビリ敷き込み

(バルコニー)

鉄骨(亜鉛メッキドブ漬け)、FRPグレーチング

内部仕上げ

居間・洗面・便所・寝室・子ども室・吹抜

(床)

フローリングt-12

(一部)電気式床暖房

(壁)

PBt-12、シナ合板

構造用合板(ヒノキ)t-12

(天井)

PBt-12、シナ合板

構造用合板(ヒノキ)t-12

和室

(床)

琉球畳敷込み

(壁)

PBt-12、パテ処理、珪藻土塗

(天井)

PBt-12、パテ処理、珪藻土塗

洗面・便所・物置

(床)

フローリングt-12

(壁)

構造用合板(ヒノキ)t-12

(天井)

構造用合板(ヒノキ)t-12

洗濯干場

(床)

フローリングt-12

土間コン

(壁)

構造用合板(ヒノキ)t-12

(天井)

構造用合板(ヒノキ)t-12

玄関・勝手口

(床)

フローリングt-12

土間コン

100角タイル張り

(壁)

構造用合板(ヒノキ)t-12

(天井)

構造用合板(ヒノキ)t-12

設備

給排水

給水/公営上水道、直圧、サヤ管ヘッダー方

排水/公営下水道、分流、ヘッダー方式

給湯

エコキュート、直圧、サヤ管ヘッダー方式

空調

冷房/エアコン

暖房/エアコン

換気/24時間換気システム、第三種換気

電気

受電方式、1 3w200/100V、

中部電力Eライフプラン(3時間帯別電灯)

主な使用機器

衛生陶器/TOTO

システムキッチン/TOTO

照明器具/パナソニック・オーデリック